



美方高校 JRC部が「広報みはま」の音声版を作成

■お問い合わせ先
町企画政策課(担当・宇都宮)
☎32-6701



↑広報みはまの掲載内容を読み上げ、音声を録音するJRC部員

6月22日に、美方高等学校JRC部が「広報みはま」の音声版を町内の福祉施設等に寄贈しました。

音声版は、社会貢献活動に取り組んでいる同部が視覚障がい者に役立ててもらおうと作成したもので、広報みはま6月号(No497)の掲載内容を聞くことができます。

作成にあたっては、部員4人が分担して全24ページを読み上げ、その音声をCDに録音しました。また、CDの表面には広報紙の表紙がプリントされています。

CDは、特別養護老人ホーム「湖岳の郷」、デイサービスセンター「ほほえみ」、町立図書館、町社会福祉協



↑湖岳の郷に音声版(CD)を寄贈するJRC部

議会の4施設に寄贈。湖岳の郷では、入所者に町の話題を提供する際に活用していくとのことでした。

部員の武田隆佑さん(1年・菅浜)は、「自分で聞き直した時に、聞き取りやすいくに気をつけて読み上げました。この活動が目まぐるしいです。役に立てれば嬉しいです。」と話されていました。

JRC部では、今後も音声版の作成を続けていく予定です。また、施設のほかに、視覚障がい等が必要な方にも寄贈するとのことですので、ご希望の方は美方高校JRC部(☎45・0793)までお問い合わせください。

「関西美浜会」の総会が開催されました

6月17日に、大阪市内で関西美浜会の平成24年度総会と懇親会が開催されました。関西美浜会は、関西圏に住む美浜町出身者によって構成される団体で、現在の会員は100人となっています。

総会では、会員の近況報告のほかに、規約の一部改正や親睦行事の開催等について事務局から提案され、今後の事業計画として承認



されました。

懇親会では、山口町長と藤本町議会副議長が町の現状を報告。山口町長は、舞鶴若狭自動車道の工事進捗状況や企業誘致、若者定住に関する町の施策等について説明しました。また、金森悦子美浜町観光協会会長、加藤美樹子女将の会代表、町職員、町の観光PRキャラクタ「へしこちゃん」が、町の観光状況の報告と観光PRを行いました。

その後、「ふるさと美浜うまいもん抽選会」が行われ、参加された方々は、抽選で当たった特産品を手にとり、故郷の思い出や近況を話し合う等して親睦を深めました。

関西美浜会では、美浜町出身者で、関西圏にお住まいの方を対象に会員を募集しております。ご本人をはじめ、ご親戚やご友人方がおられましたら、お気軽にご連絡ください。

※ご連絡先

・ 関西美浜会会長 田邊 正義氏

☎072-843-9740

・ 町企画政策課(担当・川崎)

☎32-6701

家庭にやさしい
エコ生活
〜節電で節約しよう〜

今

年の夏も昨年引き続き電力不足が問題になっています。関西電力エリアでも万が一に備え計画停電の準備がされており、この状況を乗り切るために、今年は昨年以上の節電が求められています。

家電の使い方を見直す

節電は不便な面もありますが、これまでの生活の中で無駄に電力を消費していた部分を見直す機会ととらえることができます。また、消費電力を抑えることは電気代の節約にもつながります。

消費電力を抑えるにはいくつかの方法がありますが、今回は家電の使用方法を見直すことを中心に紹介します。下記の表を参考にしてください。節電に挑戦してみてください。

※表の金額はあくまでも目安です。実際は使用している家電の消費電力や電気の使用時間帯によって異なります。



● 家電の使用方法与節約できる電気代の目安

| 家電製品 (消費電力) | 節電前 | 節電後 | 1月で節約できる 電気代 |
|--|------------------|------------------|-----------------|
|  電気ポット (800w) | 1日中使用 | → 使用をやめる | 630円 |
|  IH炊飯器 (1,200w) | 1日3回炊飯 24時間保温 | → 1日1回炊飯 保温なし | 540円 |
|  洗濯乾燥機 (1,300w) | 毎日洗濯 毎日3時間乾燥 | → 乾燥をやめる | 1,620円 |
|  食器洗浄機 (900w) | 毎日1回使用 乾燥30分 | → 乾燥をやめる | 270円 |
|  除湿器 (500w) | 毎日8時間使用 | → 使わない | 2,400円 |
|  エアコン[冷房] (660w) | 毎日11時間使用 | → 1日3時間減らす | 1,190円 |
|  テレビ (300w) | 毎日8時間使用 | → 1日3時間減らす | 360円 |
|  ドライヤー[hot] (520w) | 毎日20分使用 | → 1日10分減らす | 50円 |

[出典：始めよう暮らしのダイエット(ダウンアンペア作戦コンソーシアムふくい発行)]

家電の買い換えも効果的

消費電力を抑えるためには、家電製品の使用を控える以外に、古い家電製品を新しい物に買い換えるという方法もあります。最近の家電製品は消費電力を抑えたものが多く、自然と節電につながります。また、白熱灯や蛍光灯をLED灯に交換することも効果的です。



自分に適した節電を

節電は大事ですが、節電を意識しすぎるあまり冷房器具の使用を控えてしまい、熱中症になってしまう人が増えているという話があります。冒頭にも述べましたが節電にはいくつかの方法があります。まずは自身のライフスタイルを見直し、それに適した節電に取り組んでみてください。



※お問い合わせ先

町住民環境課(担当・田村)

☎ 32-6703

美浜発電所の状況



今回の報告では、6月19日から7月18日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

山口町長が町議会とともにエネルギー政策等に対する意見を国に要請

7月12日、山口町長は町議会の北村議長をはじめ、藤本副議長、原子力発電所特別委員会の飯田委員長、松田副委員長とともに、経済産業省や内閣府等の関係機関に要請活動を行いました。

今回の要請は、美浜町が半世紀に亘り国のエネルギー政策に協力・貢献してきた中で、現在、政府が中長期的に原子力発電への依存度を可能な限り減らすとした方向で議論を進めていること、また、国の事故後の対応や体制等から生じた原子力発電そのものや、国、事業者に対する不信感が残っていることを踏まえ、原子力規制委員会設置法による規制組織を早期に設置し、安全基準の見直し等による信頼回復と、安全・安心な原子力利用が今後も着実に進められるよう要請したものです。

【要請項目】

- ① 国益に適うエネルギー政策の選択
- ② 安全が確認された原子力発電所の早期再稼働
- ③ 長期停止に伴う立地地域への支援
- ④ 40年運転制限の慎重な運用
- ⑤ 電源三法交付金制度の維持等立地

自治体への支援の継続

⑥ 企業(産業)誘致等に向けた支援制度の充実

当日、経済産業省で面談した北神経済産業大臣政務官は、この要請に対し、

① 国の方針は、原子力発電の比率を中長期的に下げることとしているが、これから3つの選択肢(原子力発電の比率を0%・15%・20%・25%)の中で、国民的議論に付して進めていく。但し、エネルギーは国の根幹であり、安全は大前提として、安価で安定的なものでないといけない。CO₂も依然として重要な課題であることから、こういった視点も踏まえ検討していく。

② 原子力発電所の再稼働は、ストレステストにおいて原子力規制庁が発足するまでの間も、安全性について丁寧に進めていく。新たな安全基準は、原子力規制庁で進めていくことになるが、我々としては、その任務をしっかりと果たしていきたい。

③ 原子力発電所の長期停止により、経済的に厳しいということは、十分理解している。県でも融資制度をさせていただいているが、我々としても、中小企業の政策メニューの中で、しっかりと運用・対応していきたい。

④ 40年というのは基本だが、その例

外的なところで、どのように科学的に検証していくかは、原子力規制庁が発足後に決めていくのでご理解いただきたい。

⑤ 電源三法交付金制度は、従来どおりを考えている。しかし、エネルギー政策を国民的な議論の中で進めるにあたり、今後考えなくてはならないが、これまで国策に協力いただいたことに報えるよう、しっかりと検討していきたい。

⑥ 中小企業対策もそうだが、工業団地も含めて、皆さんの地域の要望をまとめていただき、我々もしっかりと聞いて、対応していきたい。と答えました。

町では、今後も町議会と連携しながら、原子力発電を取り巻く課題や問題に取り組んでいきます。



↑北神経済産業大臣政務官に要請書を手渡す山口町長ら

美浜1号機

第25回定期検査中

(平成22年11月24日)

美浜2号機

第27回定期検査中

(平成23年12月18日)

美浜3号機

第25回定期検査中

(平成23年5月14日)